



カトリック新潟教区
編集発行人 教区報編集部
〒951-8106
新潟市中央区東大畑通1-656
TEL. 025-222-7457
FAX. 025-222-7467

一八八殉教者の 列福を宣言

長崎に三万人が集う

十一月二十四日ベネディクト十六世教皇は、一六〇三年から一六三九年に殉教したペトロ岐部と一八七殉教者を福者の列に加えたと宣言された。長崎で史上初めての列福式には全国からの信徒のほか韓国など国外を含む約三万人を超える列席者が長崎に集まり、殉教者の生涯に思いをさせ、喜びと感謝の祈りをささげて列福を祝った。



高らかに列福を宣言



教皇書簡が朗読される

列福の儀
日本カトリック司教協議会々長の岡田武夫東京大司教様がジョゼ・サライヴァ・マルティンス枢機卿様に次のように**列福宣言の要請**を述べられた。
「わたくしペトロ岡田武夫東京大司教は、ベネディクト十六世教皇陛下に対し、一六〇三年から一六三九年に殉教した神のしもべ、イエズス会盛式誓願修士ペトロ・カスイ岐部司祭と一八七人の尊者を、福者の列に加えてくださるよう、ここに謹んでお願い申し上げます。」
続いて**殉教者の略歴紹介**は殉教地ゆかりの教区の九人の司教様がそれぞれ述べられ、菊地功司教様は「米沢の殉教者ルイス甘糟右衛門ほか五十二名」を紹介された。
列福宣言
教皇代理のジョゼ・サライヴァ・

てあかししたこの殉教者たちの記念日は、法令の定める場所と形式に従い、毎年七月一日に祝うことにいたします。」と教皇書簡を朗読された。
列福が宣言されると、祭壇の後方正面に掲げられた長崎の聖画家三牧樺子さんによる一八八殉教者の肖像画(油絵)が除幕され、一八八羽のハトが大空に放たれた。
日本の全教会の信徒を代表して岡田東京大司教様がジョゼ・サライヴァ・マルティンス枢機卿様に感謝の辞が述べられて列福の儀は終了した。
高らかに栄光の賛歌が歌われ「ヨハネによる福音(12章24、26)」が朗読された頃には雨は上って雲間から日が差しはじめ白柳枢機卿様司式の列福式ミサは厳粛と喜びと感謝のうちに進められた。

マルティンス枢機卿様によって教皇書簡が朗読され、次のように列福を宣言された。(ラテン語と代読者による日本語)
「一六〇三年から一六三九年に殉教した神のしもべ、イエズス会盛式誓願修士ペトロ・カスイ岐部司祭と殉教者である以下の尊者を使徒的権威によって福者の列に加えます。」と高らかに宣言された。「イエス・キリストの福音を勇気をもってあかししたこの殉教者たちの記念日は、法令の定める場所と形式に従い、毎年七月一日に祝うことにいたします。」と教皇書簡を朗読された。
列福が宣言されると、祭壇の後方正面に掲げられた長崎の聖画家三牧樺子さんによる一八八殉教者の肖像画(油絵)が除幕され、一八八羽のハトが大空に放たれた。
日本の全教会の信徒を代表して岡田東京大司教様がジョゼ・サライヴァ・マルティンス枢機卿様に感謝の辞が述べられて列福の儀は終了した。
高らかに栄光の賛歌が歌われ「ヨハネによる福音(12章24、26)」が朗読された頃には雨は上って雲間から日が差しはじめ白柳枢機卿様司式の列福式ミサは厳粛と喜びと感謝のうちに進められた。

列福式ミサ説教(要旨)

白柳枢機卿

26聖人の殉教に始まった日本の三〇〇年もの長期にわたる熾烈を極めた迫害と殉教の日時、場所などが正確にわかっている殉教者だけでも五五〇〇人をくだらないといわれ、確かに殉教したけれど名前のはっきりわからない者は約二万人に及ぶといわれている。
これらのうちすでに二六聖殉教者、二〇五殉教者さらに十六人のドミニコ会関係者(司祭・修道者・第三会・信徒など)がローマ教皇様から公に福者として宣言されていて、今日新たに一八八人の殉教者が福者として宣言された。
このたびの福者のなかで目立つことは一家揃っての殉教のケースが多いことで、これは司祭たちによる熱心な信徒養成また家族一体となつての信仰の実践、近辺の信徒の家庭が一緒になつて小さな教会の役割を果たしたことであった。
もう一つの際立っていることは三〇〇年の長い弾圧の過酷な条件のなかでも、代々家庭での信仰が受け継がれた私たちの先輩たちの信仰の質の高さと、その深さを感じないではおられない。
これらの殉教者たちが現在の私たちの列福にはどんなメッセージがあるのか、一緒に考えてみよう。
(一)誰がキリストの愛から私たちを引き離すことができませうか」と聖パウロはローマ人への手紙に書いている。日本の殉教者も聖パウロと同じことを叫び、神様の恵みに信頼して信仰に生きることを怖れるなど叫び続けている。
(二)家族が全員一緒に殉教したケースが多いということは、愛で結ばれ、共通の価値観を持ち、何が起きても動ぜず互いに助け合い励まし合ったからだろう。
家庭には生きる喜び、生きがい、充足感が満ちていたことだろう。このような家庭をつくるようにと殉教者は私たちに強く呼びかけている。
(三)キリシタン時代の信徒は近辺の方々と暖かい交わりを大切にしていた。私たちの教会・信仰共同体が神の愛の目に見えるしるしとなるよう、殉教者は強く訴えている。
(四)殉教者は日本の社会に呼びかけている。生きるとはどういうことか、死ぬとはどういうことか、人間は何のために生きるのか、人生の目的、意義とは何か、人生の根本問題について深く考えるように求められている。
さあ皆さん、怖れずに歩み、一緒になって進みましょう。怖れるな、怖れるなと神様がそして殉教者が呼びかけています。皆さん怖れるな。

列福式の朝



3万人で埋めつくされた



司教様の大行列

列福式の開祭の正午までには二時間以上もあるのに、式場の長崎ビッグNスタジアム前の広場は十月末現在の統計で参加予定者が三万人を超えたと報じられている入場者でどこもいっぱいであった。

このままに晴れてほしいと思っただが、式が始まる直前になってから小雨が降り出し、大十字架を先頭に入場する五〇〇人の司祭団も祭服の上に透明のフード付きレインコート姿の行列が続き、二十人近い司祭団と白柳枢機卿様、教皇代理のジョゼ・サライヴァ・マルティンス枢機卿様が着席されると、鐘の音を合図に参列者全員は起立して大聖歌隊による「殉教の血潮に養われて、いばらの道の三〇〇年」の開祭の歌「殉教の血潮に」などが歌われた。

あわれみの賛歌が歌われた頃から幸いなことに雨は小降りになった。

ミサ後、隣接する幼稚園ホールで開かれた祝賀会で菊地司教は「鎌田耕一郎神父様は一九二八年生まれで今年八〇歳の現役の主任司祭です。永年悩まされた腰椎は手術で痛みはなくなりましたが、杖の助けはいるが大変お元気で。」

「ユーマア豊かなお話しはいつも心に残ります。新潟(男性)

サムライたちの殉教

米沢の殉教が絵本に

長崎において一八八人の殉教者が福者の列に加えられた中には、ルイス甘糟右衛門をはじめ53人の米沢の殉教者が含まれています。

この列福式は新潟教区の信者にとっても大きな喜びと恵みの時となりました。このたび新潟教区では「米沢の殉教者」を一人でも多くの方々に知っていただけのように、その史実を絵本にしました。絵は神保亮さん、文は筒井義之さん、訳は千原通明神父様です。お求めには一冊二、〇〇〇円の協力献金をお願いします。送料は着払いです。

〈問い合わせ先〉

カトリック山形教会

☎〇二三一六二二一三五七四 (九時〜十二時)

☎〇二三一六二二一三五九〇

お祝いのことば

◆永年ご指導をいただきありがとうございます。ご健康とご活躍をお祈りします。花園(男性)

◆お体をいとおしみ、ゆつくりと活躍ください。青山(男性)

◆神父様はとても嬉しそう。おめでとうございます。幼稚園職員(女性)

◆ユーマア豊かなお話しはいつも心に残ります。新潟(男性)

た。寺尾(男性)

金祝 鎌田耕一郎神父様

司祭叙階50周年

十月十三日十時から新潟教会聖堂で新潟県内外から三〇〇人近くが集り、鎌田耕一郎師の司祭叙階50周年を祝って盛大に感謝の記念ミサを捧げた。

聖堂にあふれた人々と共に捧げられた記念ミサは菊地司教司式、県内および秋田地区から英夫師(東京教区)が立たれ、駆け付けた全司祭が共祭して、二人の神学校時代のエピソードを説教は鎌田師と同期(五〇年前)の一九五八年三月二十一日、当師の手柄を語られた。



金祝 感謝の記念ミサ

神学校当時の状況を思い出すと、鎌田師も同じであったと思

うが、召命は人を通して、出来道遠ければ、われらと共に留ま

拍手が続いた。

鎌田師は挨拶で「日暮れて、